



FUJI WOMEN'S UNIVERSITY

No.78

Jul.20, 2024

藤女子大学
広報

藤



6月1日に学校法人藤天使学園発足記念式典を举行了ました

CONTENTS

- 巻頭言～藤天使学園の発足について／2
- 学長就任挨拶／3
- 【企画】2025年に迎える藤学園100周年に向けて
～5つの未来共創ビジョンと本学の取組み～／5
- 地域社会との連携「健康弁当」開発～発売のプロジェクト／14
- 新企画「教えて!先生」／15

巻頭 言



藤天使学園の発足について

理事長 Sr. 永田 淑子

藤学園は2024年4月1日に、天使学園と合併して「藤天使学園」となりました。それは、学園が100年目の歩みを踏み出したその時でした。2025年、学園は創立100周年記念を祝います。

天使学園は「マリアの宣教者フランシスコ修道会」という、世界的に有名な女子修道会によって創設されました。札幌には1908年から派遣されており、天使病院で医療活動を行ってこられたことをご存知の方も多いことでしょう。その修道会が札幌で専門学校を開設して看護教育を始めたのは1947年で、それは、藤学園が専門学校を開設して教員養成を始めたのと同じ年でした。

この二つのカトリックの女子専門学校誕生は、本道における女子高等教育の歩みの最初の一步でした。短期大学制度が発足した1950年に、両校とも短期大学を開設して専門学校を廃止し、藤は教員養成に力を入れ、天使は看護師養成に力を尽くしました。また、戦中から戦後にかけて、子どもたちの栄養状態が悪くなかったため、子供たちの成長に問題があり、厚生省は栄養士養成に力を入れようとしたので、藤と天使の両短大は栄養士養成も始めました。

1961年に藤は四年制大学を開設し、北海道の女性たちに大学教育への道を拓きました。英文学科と国文学科の2学科のみ、入学定員は各学科50名の小さな大学。校舎は1925年創設の高等女学校以来の校舎で、古く貧しいながらも磨き上げられた黒光りのする床の趣のある校舎でした。

藤と天使の合併という考えは、1997年に一度ありました。その年に天使の修道会「マリアの宣教者フランシスコ修道会」の責任ある立場の方々が数名、藤の修道会の責任あるシスターたちを訪ねてられました。修道会の方針変更により病院や学校などの施設運営の責任から手を引いて、宣教地応援の仕事に力を注ぐことになったので、

藤と天使が合併して、四年制大学として看護教育を続けてほしい、と打診を受けたのです。当時はまだ北海道内ばかりか日本国内でも、四年制大学での看護教育はそれほど普及していなかった時代です。全国、全道での先駆的な構想で、天使のシスターたちの先見性です。

その時点では、私たちの修道会には看護教育の経験がないことを理由にお断りしたのです。しかし、その直後に当時の地主司教様から、藤と天使と一緒にしてほしいと言われ、司教様としてもそれを望んでおられることがわかりました。ただし、その当時はすぐにお引き受けできない事情もあったため、時を待ちながら過ごしておりました。そのうちに状況も変化してきましたので、当時の天使の近藤潤子理事長様と私との間で、カトリック学校の将来について折々話し合いをしてきました。地主司教様の後を継がれた勝谷司教様も、温かくその経過を見守ってくださっていました。

私たちが天使のシスターたちや司教様から託された使命は、天使のカトリック精神の承継でした。合併後の学園名称は両方を合わせて「藤天使学園」。学園の建学の精神は、双方ともカトリック精神に基づく人格教育を土台としてきましたので、天使学園がこれまで大切にされてきた「愛をとおして真理へ」という、簡潔かつ意味深い表現を、新たに歩み出した学園が承継することを決めました。

天使大学はこれまで通り、愛深く有能な看護師・保健師・助産師・管理栄養士を養成し、健康で幸せな社会づくりのために貢献します。また藤女子大学は広い視野と愛に根差した教養ある女性たちを育成し、さらに子どもたちから大人までの地域社会の、真のウェルビーイングに貢献する女性たちを育てます。

学園の皆様で力を結集して、よりよい学園づくりを目指してまいりましょう。今後どうぞよろしく願いいたします。

学長就任挨拶

学長 渡邊 頼純



4月1日に10代目学長に就任致しました渡邊頼純でございます。本学の学長として初めてカトリックの聖職者ではない、いわば世俗の平民出身の学長ということになります。その私が本学学長の任をお受けしたのは自分がこれまで頂いてきたカトリック教育におけるお恵みの大きさがあります。

私の両親は子どもの教育に熱心な人たちでした。そんな両親は私を兵庫県西宮市にある仁川学院小学校に入学させてくれました。コンベンツァル聖フランシスコ修道会の経営で、校長先生はポーランド人の神父。難しい名前でしたので自分のことを「ニコニコ神父」と呼んでよいと生徒たちに仰っていました。いつもチョコレート色の修道服を着て、休み時には「良い子になる注射しますよ!」と言って子供たちを運動場で追いかけていました。ちなみにアウシュビッツ収容所で餓死刑を宣告されたユダヤ人の代わりに自ら身代わりを申し出たマキシミアン・コルベ神父は、ニコニコ神父の同僚で友人でした。

仁川学院小学校はとても優しい雰囲気为学校でした。今風に言えば「お受験小学校」で、男の子は「灘・甲陽・六甲」の御三家を狙っていました。私は小学校2年生の時に六甲の12期生である小田幹也先生がお弁当の時間にして下さるお話がとても楽しかったので、六甲学院に憧れて受験しました。

受験番号は「13番」であまりめでたい番号ではなかったのですが、なんとか合格。憧れの六甲に通い始めましたが、六甲は「スパルタ教育」で有名な学校。名物の「便所掃除」では上半身裸で短パン、裸足で「亀の子タワシ」を使って便器を綺麗にします。掃除を教育の一環に位置付けていたので職員室や応接室以外はすべて生徒が担当していました。その綺麗さ加減は折り紙付きで、近隣の女子高からシスターに引率された女子高生が見学に来たくらいでしたが、こちらは上半身裸、短パン、裸足、おまけに丸坊主ですから、たいへん恥ずかしかったことを覚えています。

当時の校長はフーベルト・シュバイツェル神父。当時の六甲には20人くらいの神父とブラザーがいて、今思えば贅沢な教授陣でした。各学年に学年主任として神父が

一人ずつ配置され、中1から高3まで面倒を見てくれました。私たちの学年はニューヨーク出身のロバート・

フリン神父。“Progress in English”という英語の教科書を作った先生で、この教科書は当時100校近いミッションスクールで使われていました。フリン神父を慕う生徒は多く、私の学年は45人クラスが4つありましたが、卒業する頃にはちょうどクラス分の生徒が洗礼を受けていました。毎年大型バイクで生徒の自宅を家庭訪問し、家族ぐるみで生徒を大切にしてくれました。ちなみに、かつて藤の学長を務めた故喜田勲神父も私の12年先輩でやはりフリン神父の教え子です。

その後、私は上智大学に進学しました。六甲も上智もイエズス会の経営ですが、前者が愛をもって「規律(discipline)」を教えてくれたとしたら、後者は愛をもって「洗練(sophistication)」を教えてくれました。当時120人以上いたイエズス会士たちは哲学や神学以外にも自分の専門分野を持ち、グローバルな視点から学生たちを世界と繋げてくれていました。当時の理事長でその後バチカン教皇庁の教育次官になったジョゼッペ・ピタウ神父は1973年、大学2年生だった私をスペインで開催された「世界カトリック大学連盟」の総会に学生代表として連れて行ってくれました。それが私の国際会議への初めての出席となりました。

このように振り返ると、私は藤に来ることを神様によって準備されていたように思います。私は自分自身にはあまり自信はありませんが、カトリック教育を通じて得られたお恵みがきっと聖霊の働きによって私の藤での歩みを支えてくれるものと確信しています。

藤は来年学園創立から100周年となり、本学では次の100年に向けて“Fuji ver.2”という新たな展開を遂げようとしています。これまでの藤の良き伝統をさらに深めつつ、新たな藤を創造するために皆様のご支援とご協力、そして何よりもお祈りを心からお願いいたします。

副学長就任挨拶

副学長 Jeremy Redlich

Dear Fuji Women's University students and parents of Fuji students. It is an honor and a privilege for me to write this welcome message to you! Over the past twenty-four years, I have taught at universities in Canada and Japan, and at various schools in Germany and Korea. With every new place comes new experiences. One thing I have noticed about Fuji Women's university that makes it special is how supportive the learning environment is for its students. As a relatively small university with a rich history premised on principles of love, care and support, every day I see these principles put into practice in the way that the faculty and staff support students. Not only do Fuji students develop their minds and skills for future success, but they also become more open-minded and well-rounded people. I hope that your university experience is one of personal growth and intellectual enrichment.

藤女子大学の学生の皆様、
保護者の皆様

皆さんにこの歓迎のメッセージ
を書くことができ大変光栄です。

過去 24 年間に亘り、私はカナダと日本の大学、そしてドイツと韓国のさまざまな学校で教鞭を執ってきました。新しい場所には必ず新しい経験が伴います。藤女子大学について私が思う特別なことの一つは、学生に対する学習環境が
いかにサポート的であるかということです。愛、思いやり、
支援の精神に基づき教育を行う歴史ある小規模大学で、
私は毎日、教職員が学生をサポートする上でこれらが実践
されているのを目にします。藤女子大学の学生は、将来の
成功にむけて心とスキルを育むだけでなく、よりオープン
マインドでバランスのとれた人間になるでしょう。皆さんの
大学生活が個人の成長と知的な豊かさをもたらすものとなる
ことを願っています。



藤女子大学の国際交流

サールス・プレゼンテーション中等学校(アイルランド)の生徒たちと交流しました。

2024年2月、藤女子中学・高等学校に姉妹校のサールス・プレゼンテーション中等学校(アイルランド)から、日本の高校1年生にあたる生徒11名と校長先生、引率の先生が来訪されました。期間中は、藤女子大学の有志サポートメンバーも藤女子中学・高等学校の授業や、日本文化体験、札幌の街案内のお手伝いをしました。

学生の感想



文学部
英語文化学科 3年
T.Mさん

アイルランドの留学生の方たちに、着物着付け部として浴衣の着付けをさせていただきました。留学生の方たちは、私たちの拙い英語での説明を真剣に聞いて言いたいことを汲み取ってくれるとても優しい方たちでした。和室での活動だったため、敷居や畳縁を踏まないようにお願いしたときもすぐに対応してくれました。浴衣を選ぶ時にはすぐに選んで下さったので、スムーズに進めることができました。着付け中には、日本ではどのような活動をしたのか、どんなことが楽しかったかをとても楽しそうにお話してくださり、ホックリしました。着付けの出来る先生がお二人だったので、着付けの順番を待っている間は折り紙などの日本の伝統的な遊びをしてもらいましたが、皆さんとても手先が器用で、終わる頃には机の上がたくさんの折り紙の作品で溢れていて嬉しかったです。授業以外に英語でお話することも誰かに帯を結ぶこともなかったので非常に緊張しましたが、とても楽しい活動でした。留学生の方たちにも楽しんでいただけたよう良かったです。この度は参加させていただきありがとうございました。



浴衣の着付け体験



折り紙を楽しむ様子

企画 2025年に迎える藤学園100周年に向けて ～5つの未来共創ビジョンと本学の取組み～

第4回 信頼される藤 ～学生を守る環境を整えます～

「ハラスメント防止」に向けた取組み

誰もが加害者・被害者にならない大学づくりに努めるため、各種ハラスメントによる人権侵害等の未然の防止・根絶を目的として例年研修会を開催しています。2024年2月には『アサーション研修～今こそ“対話”で関係性を育もう～』をテーマに、キャリアコンサルタントの本村 規子氏 (WITH A SMILE) をお招きし研修会を実施しました。

研修会では、自己表現の考え方と方法である「アサーション」について、グループワークやロールプレイといった取組みを通じ、アサーティブに(自分らしく)生きるためのヒントを学びました。

また、本学では万が一が一人権侵害が発生した場合に、学生や教職員が安心して被害を訴えることができるよう「ハラスメント相談窓口」を設置しています。



海外危機管理セミナーの実施

年に2回、長学期留学や短期プログラムによる海外渡航を控えた学生を対象に、外部から講師を招き危機管理セミナーを実施しています。2023年度には渡辺 剛史氏 (ほくよう保険サービス株式会社) と益永 久穂氏 (海外留学生安全対策協議会 (JCSOS) アドバイザー) を講師にお招きました。危機管理事象に対する具



体的な対応策を交えた講演内容に、学生たちは身を置いたことのない状況を想定することの難しさに直面しつつも、講師からのアドバイスに対し熱心に耳を傾けていました。

前期と後期で計2回実施したうち、12月のセミナー(後期実施分)には道内外から6大学の国際交流担当職員の方々が見学に来られ、海外で被害に遭遇するプロセスやセルフディフェンス、性被害や犯罪・テロから身を守る方法に関する講義と体験にご参加いただきました。



防災訓練(自衛消防訓練)の実施

災害発生時の学生避難と被害軽減、防火・防災についての教育・啓発のため、防災訓練(自衛消防訓練)を実施しています。2024年3月には北16条キャンパスにて、防災士・救急救命普及員の資格を持つ渡邊頼純学長(当時・副学長)による講演から始まり、その後、震度5強の地震と火災発生を想定した総合訓練を実施しました。



当日は、初期消火や避難誘導、搬送救護などを実践したほか、消火器訓練や救急救命デモンstrーションを行い、緊急時における迅速かつ適切な対応方法や心構えについて再認識しました。

万が一の事態が起こった際、冷静に対応できるよう今後もこのような訓練等の機会を設け、教職員の防災意識を高めていきます。

新入生が抱える不安について先輩に聞きました！

文学部

英語文化学科

英語文化学科 3年
H.Nさん



課題や期限を自分で管理して準備・行動できるか不安

私はカレンダーアプリのリマインド機能を使って対策しています。毎日提出日の期限についてお知らせしてくれるのでおススメです！また、友達同士で提出期限を知らせ合うのも一つの手だと思います。そもそも、入学したばかりで課題や期限について考えられる人はきっと問題ないので、安心してください。

友人ができるか不安

大学には札幌出身でない人も多く、最初はほとんどの人が顔見知りのいない状態で入学します。そんな状態の私たちが思うことは一つ。そう、みんな友達欲しくてたまりません。基本的には「はじめまして！」と話しかければどうにかになります。話しかける勇気をちょっとでいいので出してみましょう。「インスタ交換しよう！」は友達を増やせる魔法の言葉です。

先輩から新入生へ一言エール

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！大学生活いかがお過ごしでしょうか？大学の4年間はあっという間です。入学したのが昨日のように思えます。勉強だけでなく友達と遊んだり、サークルに参加したり学生生活を楽しみましょう。みなさんの大学生活がより良いものになるよう願っています(*^^*)

文学部

日本語・日本文学科

日本語・日本文学科 3年
I.Hさん



基礎学力が不足しており、大学の授業についていけるか不安

藤女子大学の学科カリキュラムでは、段階的に基礎科目や専門科目が配置されているため、1年次で学修の基盤を作ることができます。さらに、分からないことを質問すると時間をかけて熱心に教えて下さる先生ばかりです。安心して大学での学びを深めてください。

希望どおりの就職ができるか不安

私も最初は不安でしたが、キャリア支援課の職員との個別面談によって不安が解消されました。藤女子大学には、就職活動を1年次から手厚くサポートして下さるキャリア支援課があります。不安は1人で抱え込まずに、気軽に相談してみてください。

先輩から新入生へ一言エール

大学生になると自由になる一方で、主体性を求められます。勉強に限らず、サークルやアルバイトにも積極的に挑戦し、自ら興味関心の扉を開いていってください！充実した4年間を送れることを願っています。

文学部

文化総合学科

文化総合学科 3年
M.Tさん



パソコン、スマホ、タブレット等を使いこなして学習を進めることができるか不安

最初は難しくても、回数を重ねるうちに慣れて少しずつ使い方を覚えていきます。私自身、大学入学前までパソコンを使った経験はほとんどありませんでした。パワーポイントなどで資料を作っていく中で、楽しく自然と使えるようになりました。

4年間で卒業できるか不安

アルバイトやサークルが忙しくても、優先すべきことを考えて授業に参加し、課題を提出することができれば不安に感じることはないです。また、中には海外留学を経験して5年かけて卒業する人もいます。4年で卒業しなければならないと考える必要もありません。

先輩から新入生へ一言エール

大学では勉強もアルバイトもサークルも、自分のやりたいことに挑戦できる機会がたくさんあります。今だからできることを是非経験してみてください。楽しい大学生活を送ってください。

本学が2024年度新入生を対象に行ったアンケートにおいて、「不安に感じている」という回答が多かった項目について、各学科の先輩方に後輩に向けたアドバイスをご寄稿いただきました。

人間生活学部

人間生活学科

人間生活学科 4年
I.Rさん



学習時間が不足しており、大学の授業についていけるか不安

少人数教育で先生との距離が近いので、わからないことや困ったことがあってもすぐに聞くことができます！一人ひとりに寄り添ってくれるため、自分だけ置いていかれてしまうことはありません。また質問もしやすい環境なので、どんどん質問し、学びを深めてください！先生に聞けないことがあれば、先輩方も頼ってください！

課題や期限を自分で管理して準備・行動できるか不安

提出期限が他の授業と重ならないよう調整して下さったり、期限を長めに設けて下さったりする先生もいて、週3～4日ある部活動と両立することができました！私は、なるべく課題を授業終わりに行くことで、復習にも繋がりが効率よく管理できたのではないかと思います。やることリストに書き出しておくこともおすすめです！

先輩から新入生へ一言エール

大学生は自由な時間がたくさんあるので、旅行・サークル・部活動などやりたいことを計画して下さい。友達が沢山の縦横の繋がりが広がるので興味があることに積極的に取り組んでみましょう。

人間生活学部

食物栄養学科

食物栄養学科 4年
H.Kさん



学習時間が不足しており、大学の授業についていけるか不安

まずは授業に出席することが大切です！理解できないことや分からないことがあれば、すぐに友達や先生に聞くことで疑問や不安解消につながります。優しい先生ばかりなので授業中だけでなく授業外でも、一緒に考え、丁寧に教えていただけるので安心してください！

パソコン、スマホ、タブレット等を使いこなして学習を進めることができるか不安

4年間の大学生活で、パソコンやスマホ、タブレットは必須になるため、日々の授業の中で覚えたり、使い方がわからない時は自分で調べたり、先生や友人に聞くと思います！パソコンは、レポートなどの課題作成、スマホやタブレットは、課題締切などのメモに使うなど、自分に合った使い方を見つけていくことが大切です。

先輩から新入生へ一言エール

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。最初は戸惑うこともあるかもしれませんが、困ったときや分からないことがあれば気軽にFSA※に相談してください。

※FSA (Fuji Student Assistant)：学生の主体的な学びをサポートするために創設された学生組織。

人間生活学部

子ども教育学科

子ども教育学科 3年
T.Cさん



基礎学力が不足しており、大学の授業についていけるか不安

私も初めは不安でしたが、授業内のグループ活動等で積極的に友達と交流し、互いに不安を共有することで乗り越えることができました。また、先生方は親身になって相談に乗ってくださいます。授業の前後やオンライン上でいつでも相談できる環境が整っているので、安心して学習に取り組んでください。

様々なオンラインツールを使用して学習を進めることができるか不安

慣れないツールの操作に私も最初は苦戦しましたが、授業や課題等で使用する回数を重ねるごとに慣れ、徐々に活用できるようになりました。また、藤女子大学で用いられているGleixaという学習管理システムも、日常的に使用することになるので自然と操作が身に付くと思います。

先輩から新入生へ一言エール

まだ不安も多いと思いますが、同じ夢を持つ仲間と出会い共に過ごす日々は自分を成長させ、新たな学びと可能性に溢れています。自分が興味のある物事に挑戦し、限りある大学生活が充実したものとなるよう応援しています！

大学院研究室紹介

「大学院ではどんなことを学ぶの?」「大学院の魅力は?」
そんな疑問に本学の大学院生がお答えします!



人間生活学研究所
人間生活学専攻 2年
H.Yさん

大学院ではどのような研究や取り組みを行っていますか?

教育現場が抱えている課題や自分の研究分野等について、同じ研究室の仲間や教授との議論を通して学びを深めたり、フィールドワークで実際に教育現場に入り調査をしたりしています。特にフィールドワークは、

直接自分の目で見て情報を収集できるので探究的な学びができます。私は家庭科教員を目指しているため、学部の時よりも家庭科の高度な専門的知識や技術を学べるのが嬉しいです。

大学院で学ぶことの魅力は?

自分の興味がある分野や研究(専門)分野を、様々な視点から深く学べるということが、1番の魅力であると感じます。多くの知識が増えることはもちろんのこと、学部生の時よりも批判的・創造的に考える力がかなり養われたと実感しています。加えて、グローバルな視野を持って研究できることも大きな魅力の一つであると感じています。



フィールドワーク
札幌市内A幼稚園「絵本の部屋」



国際的な共同研究
オウル大学附属小学校の教室風景

一言メッセージ

大学院には、学部の時とは違った学ぶことの楽しさや面白さがあります。もっと興味ある分野について学びたいという気持ちがある方には、ぜひ大学院への進学を勧めたいです!

新任教職員紹介

(2024年4月1日付)

文学部 日本語・日本文学科
講師 伊藤 智弘
[専門分野] 日本語学
[好きな言葉]
特別に好きな言葉というものはありません

人間生活学部 食物栄養学科
教授 濱岡 直裕
[専門分野] 食品科学、食品衛生学
[好きな言葉]
挨拶

人間生活学部 食物栄養学科
助手 佐藤 絵利
[専門分野] 公衆栄養学
[好きな言葉]
百聞は一見に如かず

人間生活学部 食物栄養学科
助手 中川 裕香子
[専門分野] 栄養学
[好きな言葉]
凡事徹底

人間生活学部 子ども教育学科
教授 石垣 あけみ
[専門分野] 造形教育
[好きな言葉]
ポジティブに考えよう

人間生活学部 子ども教育学科
講師 中野 泰伺
[専門分野] 知的・発達障害児教育
[好きな言葉]
熱腸冷眼

人間生活学部 子ども教育学科
講師 川見 夕貴
[専門分野] 音楽教育学
[好きな言葉]
No day but today

退職教職員

※所属・職名・氏名(研究分野) 2024年 3月31日付

学長 ハンス ユーゲン・マルクス (哲学、倫理学、思想史)
文学部 日本語・日本文学科 教授 漆崎 正人 (日本語学)
人間生活学部 食物栄養学科 教授 原 博 (食品科学、生理学、医療薬学)
人間生活学部 食物栄養学科 助手 東海林悠香 (栄養学、健康科学)
人間生活学部 食物栄養学科 助手 宮沢 梨花 (栄養学、健康科学)

人間生活学部 子ども教育学科 教授 稲實 順 (教科教育学、初等中等教育学)
人間生活学部 子ども教育学科 教授 原田 公人 (特別支援教育、聴覚障害児幼児相談、人工内耳装用児支援)
人間生活学部 子ども教育学科 准教授 新海 節 (教科教育学、初等中等教育学、芸術実践論)
総務課(花川オフィス) 内山 正仁

心よりご冥福をお祈りいたします。

元藤女子大学人間生活学部保育学科
教授 後藤 昌彦様

2024年3月31日ご逝去 76歳
1982年藤女子短期大学助教として着任。1988年同教授。2014年3月に定年退職。在職中は、1991年～1994年保育科主任、1994年～1998年学生部長、1998年～2000年保育科主任、2000年～2002年保育学科主任、2004年～2008年教務部長、2010年～2014年保育学科主任を併任し、長年に亘り本学を支え、学生の教育にご尽力頂きました。



元藤女子大学人間生活学部保育学科
教授 鈴木 真知子様

2023年11月10日ご逝去 74歳
2010年藤女子大学人間生活学部保育学科嘱託教授として着任。2018年3月に退職後は2023年3月まで非常勤講師として勤務され、本学の保育者の養成にご尽力頂きました。



元藤女子大学文学部日本語・日本文学科
教授 Sr.M・ロザリア 鈴木 智子様

2024年1月28日ご帰天 91歳
1966年藤女子短期大学助手として着任。1968年同講師、1971年同助教、1977年同教授。2003年3月に定年退職。在職中は、1992年～1996年と2000年～2001年に国文学科主任を併任し、長年に亘り本学を支え、学生の教育にご尽力頂きました。



元藤女子大学図書館情報学課程
教授 松下 鈞様

2023年11月17日ご逝去 80歳
2005年藤女子大学図書館情報学課程嘱託教授として着任。2008年3月の退職まで本学の図書館情報学課程の担当教員として学生の教育にご尽力頂きました。



元藤女子短期大学・藤女子大学
教授 宮崎 莊平様

2024年3月26日ご逝去 91歳
東京都内で中学校教諭、高等学校教諭として勤務の後、1970年藤女子短期大学講師として着任。1972年同助教、1977年同教授、1978年3月に退職。在職中は、本学を支え、学生の教育にご尽力頂きました。

新企画

藤ORF

(Fuji Open Research Forum)

本学の教育・研究活動の成果を広く地域社会の皆様にご公開するために、全教員参加型の新企画「藤ORF (Fuji Open Research Forum)」を開催いたします。当日はポスター展示やセミナーなどを行います。ぜひお越しください。

2024年12月1日(日)

チ・カ・ホ (札幌駅前通地下広場)
北大通交差点広場 [東]・[西]

※詳細につきましては、大学ホームページにてご案内予定です。

藤女子大学

未来共創フォーラム 2024

会場：藤女子大学 北16条キャンパス (3回共通)

【終了】第1回 2024年6月30日(日)

絵本作家 降矢 ななさん 講演会

第2回 2024年9月7日(土)

「2024年アメリカ大統領選挙と日米関係の行方
—北海道へのインパクト—」

学長講演+学生とのトークセッション

講師 渡邊 頼純 学長

第3回 2024年11月2日(土)

「子どもの貧困問題を考える
～教育支援の現状と今後の在り方～」

UHBプロデューサーによる講演+トークセッション

講師 UHB北海道文化放送 報道番組プロデューサー
涌井 寛之氏

※実施報告や開催予定の詳細は、大学ホームページにてご案内予定です。



まちかど CONNECT

「まちかどCONNECT」は、社会貢献活動の一環として2023年度より開始した企画です。本学教員の研究等をより身近に知っていただき、地域社会の教育や文化の発展に一層貢献することを目的としています。

会場：紀伊國屋書店札幌本店 1階 インナーガーデン

2024年度

【終了】第1回 2024年7月7日(日)

「源氏物語の男と女」

講師：小山 清文 (文学部 日本語・日本文学科 教授)

【予告】第2回 2024年10月19日(土)

講師：工藤 雅之 (文学部 英語文化学科 教授)

Jeremy Redlich (文学部 英語文化学科 准教授)

※実施報告や開催予定の詳細は、大学ホームページにてご案内予定です。



トワイライト オープンキャンパス

夏のオープンキャンパスに参加できなかった方向けに、平日夜のミニオープンキャンパスを開催いたします。ぜひご参加ください。

8/2 時間 17:00～18:30
[金] 会場 北16条キャンパス

詳細はこちら



対象 文学部・ウェルビーイング学部に興味のある高校生(保護者)の方
プログラム 学科紹介や個別相談、キャンパスツアーなど

藤女子大学

AUTUMN Open Campus

秋のオープンキャンパス

高校1、2年生の方には大学入門編イベントを、
3年生の方には入学試験に向けた特別講座を行います。

【文学部】

9/22 時間 10:00～12:30
[日] 会場 北16条キャンパス

詳細はこちら

【ウェルビーイング学部】

9/21 時間 10:00～12:30
[土] 会場 花川キャンパス



※ウェルビーイング学部については15ページを参照ください。

大学へのご支援ありがとうございます

藤女子大学の寄付募集活動は、みなさまの温かいご支援により、2012年度からの累計が2億円に達しました。寄付募集につきまして深いご理解とご協力を心よりお礼申し上げ、ここに感謝の意を表しご芳名を掲載させていただきます。

大学への寄付者ご芳名(第23回) 期間 2023年10月1日～2024年3月31日(敬称略・お申込順)

〈保護者〉	〈卒業生〉	〈教職員・役員〉	〈旧教職員・旧役員〉	〈その他、法人等〉
工藤 貴光	小西 理子 長南 幸子 金崎 高子 匿名 85名	山崎 玲子	鎌田 倫子 匿名 5名	(株)木村工務店
小倉 孝子	西村 雅代 鳴海麻梨子 安藤 悦子 計 103名	福原 直樹	高橋セツ子 計 10名	代表取締役社長 木村 和仁
酒井 謙次	森元 芳枝 大野 芳枝 佐藤 桂子	木村 晶子	知地 英征	清水真理子
細谷 理紗	山田三枝子 山本 由美 青木 香織	匿名 1名	長谷部 清	匿名 2名
匿名 9名	菊池 温美 辻 桂子 松岡 敏子	計 4名	水野 佑亮	計 4名
計 13名	小林 令子 篠部 弘子 佐藤 邦美			

計134件 3,559,940円

2012年度実績: 377件 12,081,866円	2016年度実績: 179件 16,758,365円	2020年度実績: 141件 15,455,587円
2013年度実績: 277件 17,413,757円	2017年度実績: 153件 10,983,201円	2021年度実績: 135件 4,570,376円
2014年度実績: 191件 76,223,954円	2018年度実績: 126件 13,001,473円	2022年度実績: 120件 6,384,554円
2015年度実績: 181件 6,402,354円	2019年度実績: 139件 16,256,260円	2023年度実績: 147件 5,616,040円

2012年4月～2024年3月末までの累計 201,147,787円

大学への寄付実績・使途のご報告

2023年度大学への寄付受入 実績報告(2023年4月～2024年3月末)

総計 147件 5,616,040円

〈内訳〉

卒業生	110件	3,476,000円
保護者	13件	230,000円
旧教職員、役員等	10件	277,000円
教職員、役員等	7件	566,940円
その他	7件	1,066,100円

藤学園創立100周年記念事業へのご寄付ご芳名(第5回) 期間 2023年10月1日～2024年3月31日(敬称略・お申込順)

〈保護者〉	〈卒業生〉	〈教職員〉
浅沼 孝章 泉 真澄 菊地 資明	北口美恵子 宮村 百	匿名 1名
木戸 紀和 大川 俊一 匿名 11名	二木 光代 匿名 1名	計 1名
横山 哲文 本間 強 計 18名	澤谷みち子 計 5名	

計24件 470,000円

2021年度実績: 1件 50,000円 | 2022年度実績: 9件 240,000円 | 2023年度実績: 35件 3,680,000円

2021年4月～2024年3月末までの累計 3,970,000円

2023年度寄付金総計5,616,040円のうち、4,050,000円をキノルド奨学金引当特定資産の積立金へ、残りの1,566,040円を資産取得引当特定資産の積立金へ充当することといたしました。施設設備の拡充のため積立金を使用する際には、別途ご報告いたします。

現在、学生支援体制のさらなる充実のため、新型奨学金制度の創設に向けて準備を進めております。今後とも、ご支援をいただければ幸いです。

「事業報告書」及び「決算(計算書)」はこちらからご覧いただけます。

藤天使学園HP
財務情報・事業報告書



大会入賞の記録

- 2023年度北海道学生ラクロス新人戦**
- 優勝 ラクロス部(酪農学園大学との合同チーム)
- 令和5年度北海道学生女子柔道階級別選手権大会**
- 準優勝 柔道同好会
- 第40回NHK全国大学放送コンテスト本選大会**
- 朗読部門 奨励賞 放送研究会
- 第69回全日本学生競技ダンス選手権大会**
- 団体の部 優勝 競技舞蹈部(北海道大学の学生と出場)

- 第60回記念全国読書大会**
- 優秀団体賞・大会委員長賞 日本語・日本文学科1年、2年、3年
- 令和5年度札幌市民芸術祭 市民美術・書道展**
- 札幌市民芸術祭奨励賞 子ども教育学科2年
- 第46回全北海道学生競技ダンス後期新人戦**
- 2年目の部 Latin 優勝 競技舞蹈部(北海道大学の学生と出場)

2023年度『学生部長賞』

◆カーリング同好会

様々な大会に積極的に参加して好成績をおさめたことが評価されました。

◆放送研究会

様々なコンテストへの応募や積極的に学外での活動に参加したことが評価されました。

新入生歓迎行事を開催しました

2024年4月、新入生歓迎行事「フレッシュマンウィーク」が開催され、学生会執行部が中心となり両キャンパスの玄関周辺に装飾を施しました。また、コロナ禍で活動が縮小傾向にあったクラブ・サークルを盛り上げるために、クラブ連合委員会による「お昼のプレゼン&勧誘ウィーク」として、連日昼休みの時間に多くの団体が個性豊かなプレゼンテーションを披露しました。一人でも多くの新入生が充実した大学生活を送れることを願っています。



2023年度 藤女子大学 進路就職状況

データで見る藤の就職 (2024年3月卒業生実績)

本学HP▶
就職実績・
就職先一覧



学科別就職率

※大学院の就職実績は大学ホームページをご覧ください。

文学部

英語文化学科 **97.5%**

日本語・
日本文学科 **92.6%**

文化総合学科 **98.8%**

人間生活
学部

人間生活学科 **98.2%**

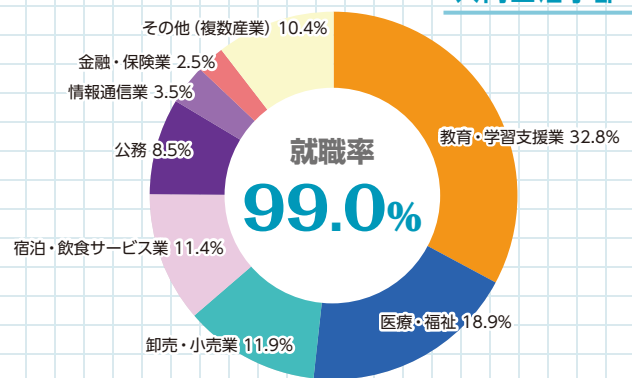
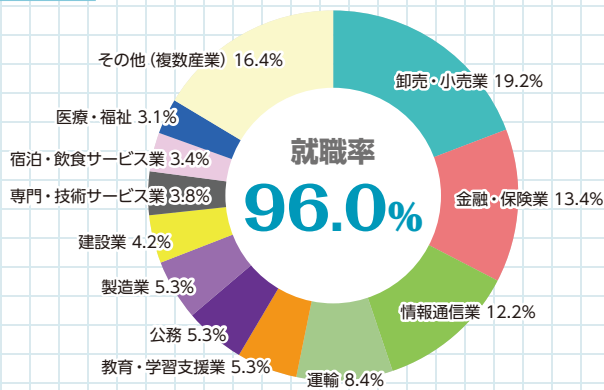
食物栄養学科 **98.4%**

子ども教育
学科 **100.0%**

文学部

就職先産業別比率

人間生活学部



文学部

主な就職先一覧

人間生活学部

- 【建設】鹿島建設／北海道セキスイハイム／太平エンジニアリング
- 【製造】大塚製薬／ファンケル／シャトレーゼ／柳月
- 【情報通信】NTT東日本-北海道／北海道新聞社
- 【運輸】全日本空輸／日本航空／AIRDO
- 【卸売・小売】国分北海道／セコマ／トリーパーチ・ジャパン
- 【金融・保険】日本銀行／北海道銀行／北洋銀行／みずほ銀行
東京海上日動火災保険
- 【不動産】札幌駅総合開発／三井不動産リアルティ札幌
- 【宿泊・飲食】ミリアルリゾートホテルズ／星野リゾート
- 【生活サービス他】札幌市農業協同組合 (JAさっぽろ)／日本郵便
- 【医療・福祉】国立病院機構／日本年金機構
- 【教育】北海道教育委員会／札幌市教育委員会
- 【公務】裁判所／北海道庁／北海道警察／函館市／帯広市

- 【建設】大和ハウス工業／ヤマチユナイテッドグループ
- 【製造】キューピータマゴ／ロイズコンフェクト
- 【情報通信】テレビ宮崎／SCSK北海道／つうけん
- 【運輸】JALナビア／サカイ引越センター
- 【卸売・小売】ニトリ／北海道味の素／ファーストリテイリング
- 【金融・保険】北海道銀行／北海道労働金庫
- 【宿泊・飲食】日清医療食品／LEOC／エームサービス
- 【生活サービス他】日本中央競馬会／日本食品分析センター
ホクレン農業協同組合連合会
- 【医療・福祉】中村記念病院／麦の子会／札幌南藻園
- 【教育】北海道教育委員会／札幌市教育委員会／北海道カトリック学園
- 【公務】防衛省／北海道庁／札幌市／小樽市／北見市

2023年度卒業生の就職率は、過去10年で最高の97.3%でした。一期生が卒業した子ども教育学科は就職率100%を達成し、本学卒の小学校教員が各地で活躍しています。民間企業の採用活動の早期化に伴い公務員試験も前倒しになる等、就職を取り巻く環境は変化し続けますが、個々の学生ニーズに応えられるよう教職員一丸となり支援を続けて参ります。

キャリア支援の詳細はこちら▶



キャリア支援室 (左:北16条キャンパス、右:花川キャンパス)



授業・ゼミ紹介!



文学部 英語文化学科 Muellerゼミ (担当教員: Charles Mueller 先生)

受講生



英語文化学科 4年
K.Nさん

Q1: Muellerゼミではどのような学びや取り組みを行っていますか?

言葉にどんな考えや気持ちが反映されているかという認知メカニズムに焦点を当てる、認知言語学を学びます。また、言語習得以外にも認知プロセスから広告や映像を扱うこともあります。例えば、比喩表現“Love is a journey (恋=旅)”。“別々の道に進もう”“一緒に歩もう”や“茨の道を進む二人”といった恋を旅に例える比喩構造が日英に存在します。異文化にも共通する概念は言語を学ぶ上で、とても面白い要素だと思います。

Q2: Muellerゼミの魅力は?

認知言語学の理論を学んだ後は、Mueller先生自作の問題や学生同士で例を共有することで理解を深めることができます。授業はすべて英語なので、難しいと思われがちですが、特定の言語に捉われずに考えることができる学問であるからこそ理解しやすい面が多くあります。優しい笑顔で和ませてくださるMuller先生は、些細な質問や理解しづらい事でも何度も表現を代えて説明して下さるので、安心して意欲的に学ぶことができます。



Q3: 今後の抱負を教えてください。

大学生生活の学びを「教育」に統合した中で、人間の共通する認知の仕方と言語を結ぶ認知言語学に出会いました。遠く離れているように感じる言語を身近な存在として考えることができる学問であると考え、現在は言語学理論を教育へ応用する『応用認知言語学』を学びながら、英語教育や日本語教育の活動に積極的に参加しています。応用認知言語学に基づく具体的な学習活動の開発について今後もMueller先生のアドバイスをもとに学んでいきたいです。

文学部 日本語・日本文学科 名畑ゼミ (担当教員: 名畑 嘉則 先生)

受講生



日本語・日本文学科 3年
K.Sさん

Q1: 名畑ゼミではどのような学びや取り組みを行っていますか?

授業内の取り組みは主に「漢文献を読解する」ことです。事前に割り振られた部分を書き下し、現代語訳し、出典を探し、読解します。事前の資料準備はひどく難解なものが、漢文献に書かれている内容を理解できた瞬間は爽快なものです。年度や学年によって取り組むテーマは多岐に渡ります。論語、漢字の字義について、中国古典文学、中国史等、興味がそそられるものばかりです。

Q2: 名畑ゼミの魅力は?

自分が知りたいことをとことん追究できる点です。漢文献を元に取扱うテーマはいつも難しいもので、理解するには時間や議論を必要とします。名畑ゼミは少人数であるため、一人ひとりに対して時間をかけとことん内容を掘り下げることができます。また、疑問や研究の相談などにも名畑先生は真摯に向き合ってくださいます。これも間違いなく名畑ゼミの魅力の1つです。



Q3: 今後の抱負を教えてください。

今後は卒業論文の作成に向けた研究をしていきたいです。名畑ゼミでは中国に関わるあらゆる分野の研究が可能であり、テーマを絞ることに苦戦しておりますが、名畑先生の研究室を積極的に訪問し、疑問を追究したいと思います。自分をもつ「疑問」が「もっと知りたい」になり、深めることで“新しい世界”に飛び込むことができる。大学生として素敵な時間をこの先も過ごしていきたいです。

文学部 文化総合学科 渡邊ゼミ (担当教員：渡邊 浩 先生)

受講生



文化総合学科 3年
F.Nさん

Q1：渡邊ゼミではどのような学びや取り組みを行っていますか？

西洋史と関連する自分が興味のあることについて文献を使って、その内容を他のゼミ生に向けて発表するというのを、主に行っています。私は、中世のノルウェーやスウェーデン、デンマークに住んでいたヴァイキングと呼ばれた人々について調べています。授業で学んで関心を持ったことを掘り下げ、より専門的な知識を得られることは、とても楽しいです。

Q2：渡邊ゼミの魅力は？

ヨーロッパの歴史に関するものであれば、比較的自由に研究テーマを考えることができる点が一番の魅力です。現在のゼミ生は、異端や魔女裁判、イギリス・ヴィクトリア朝期の女性や子ども、フランス革命と暴力、ルネサンス・バロック時代の美術と社会など、様々なテーマで研究しています。ゼミ生それぞれの関心が反映された多様なテーマの発表を聞くことは、自分自身の研究への刺激になっています。



Q3：今後の抱負を教えてください。

私が調べているヴァイキングは、略奪行為を行っていた人々として知られています。一見残酷に見える彼らが、どのような価値観を持ってそのような活動を行っていたのかについて、今後詳しく調べていきたいです。また、北欧中世に生きた民族の現代とは異なる心性を調べ理解しようとする事で、異文化理解を深め、それに対する考えをより発展させていきたいです。

図書館情報学課程「情報資源組織演習 A」 (担当教員：平井 孝典 先生)

受講生



食物栄養学科 3年
N.Sさん (写真右)
M.Rさん (写真左)

Q1：「情報資源組織演習A」ではどのような学びや取り組みを行っていますか？

NDC (日本十進分類法) という、あらゆる資源を0~9の数字を用いて分類する方法を使用して、本のあらすじ等を確認しながら本の主題を分類していくことを主に行います。とにかく実践あるのみで、先生から提示された本のタイトル・そのあらすじからひたすら分類して、ある程度終わり次第先生からの解説が入ります。本を分類するうえでの関連知識やどこに注目して分類したらよいかについても学ぶことができます。

Q2：「情報資源組織演習A」の魅力は？

まず、いろいろな種類の本から分類の練習をするので、あまり触れることのないジャンルの本のタイトルを多く知ることができます。分類を行う際には本のあらすじを理解しなければならないのですが、その際に面白いことが書かれていると興味が湧きます。分類をすることは難しいですが、主題に注目して一つひとつ細かく分類していくたびに、新しい世界が広がるようでわくわくできます！



Q3：今後の抱負を教えてください。

本の主題を分類することに慣れることはもちろんですが、1冊の本を分類することに時間を使いすぎてしまっているのが、その時間を短縮できるように努力したいです。また、後期の「情報資源組織演習B」は統制語にその主題を置き換える練習もします。そのためにも主題分類マスターになれるぐらい、自分たちがあまり手を出さないジャンルの本にも多く触れ、主題は何か、どこに分類するべきなのかを自主的に考えていきたいです。

地域社会との連携

食物栄養学科 × 国分北海道株式会社

「健康弁当」

開発～発売の
プロジェクト



人間生活学部
食物栄養学科 3年
K.Y.さん

私たちのグループは、和食中心で食べ応えがある高齢者向けの健康弁当というテーマでメニューを考えました。身体だけではなく、心も健康になってもらいたいと思い、食が楽しいものであること、大切なものであることを実感してもらえようと、食材の彩りにも気をつけました。「健食美膳」と名付けたお弁当は、8月頃から北雄ラッキーで販売される予定です。このプロジェクトを行った1年はとても楽しく充実していました。最初は面白そうという思いだけで参加していましたが、プロジェクトを通して食品卸の仕組みについて知ることができ、とても興味を持ちました。また、普通の大学生はできないような貴重な経験をさせていただき、考案したお弁当が店頭で商品として並ぶまでの過程を学べたことに、大変感謝しています。今後は、この経験を就職活動に活かしていきたいと思えます。



サークル紹介

放送研究会



放送研究会の
詳細はこちら



MID.alpha STUDIOの
詳細はこちら

藤女子大学放送研究会って、聞いたことありますか？

皆さんこんにちは、藤女子大学放送研究会です！

私たちは普段、ラジオ番組に出演したり、夏にはNHK全国大学放送コンテスト(通称：大学Nコン)に参加したりと、「放送」に関わる活動をしています。現在担当しているラジオは、コミュニティFM三角山放送局の番組である「Sapporo Campus Radio」、ココノススキノ内のMID.alpha STUDIOにて放送している番組「Go! Go! Fuji!!!」の2つで、それぞれ月に一度ずつ担当しています。また、昨年に引き続き、5月には三角山放送局で8時間にわたり生放送された音楽特別番組も担当させていただきました！曲目のリスト作成や紹介など進行のほとんどを部員が担当し、たくさんの方々からリクエストや感想など、多くの反響をいただくことができました。また大学Nコンでは、昨年放送研究会から1名が、朗読部門で全国大会に出場しました。今年は他の部門でも全国大会に出場できるようさらに熱を入れていきます。

現在私たちは、1年生7人、2年生5人、3年生3人、4年生1人の計16人で活動しています。ほとんどの部員が未経験から始めましたが、経験を重ねるごとに技術も向上し、最初は緊張していたラジオ番組も今では楽しみながら放送しています。もしお時間が合えば、ぜひ聴いていただくと嬉しいです。これからも藤女子大学放送研究会を、よろしくお願いたします！

放送研究会部長
文学部 文化総合学科 3年
A.Tさん



★教えて! 先生

自分の可能性にチャレンジできる
「プロジェクトマネジメント」の
学びをご紹介します



人間生活学部 人間生活学科
教授 和田 雅子

プロジェクトマネジメントとは?…プロジェクトを成功させるために計画(予算・納期など)を立てて管理していくこと。チームでの目標達成やタスクのスピード化に有効であるため、近年ではビジネスにおいても必要不可欠な要素として注目されています。

「座学+実践」で社会に貢献する方法を学びます

本学の「プロジェクトマネジメント」領域では、国内外や地域の社会課題から生活の幅を広げ、質を高めるための「プロジェクト」に対峙し、そのための「マネジメント」の手法を「座学と実践」を交えて学んでいきます。地域や社会に貢献できる人材を養成します。

「しなやかプロジェクトマネジメント」を研究しています

しなやかプロジェクトマネジメント(以下プロマネ)-これは私が藤女子大学人間生活学科でプロマネの教育体系の構築に携わり、獲得した学びの概念であり、研究テーマです。

そもそもプロマネはIT系やゼネコン、宇宙開発等や産業界で主に導入されているプロジェクト型事業をマネジメントする手法として発展してきました。社会で業務をマネジメントし、プロジェクトを成功へと導くための知識体系がプロマネですが、本学では「P2M」というプロマネの知識体系を導入。これをもとに藤女子大学ならではのプロマネの教育体系を構築したいと考え、「しなやかプロジェクトマネジメント」に係るカリキュラム研究を続けています。産業界で実践されているプロマネ手法



花川キャンパスの藤の花を採取しました

を再構築し、女子学生が主体的で実践可能なプロマネ教育の構築を研究中です。お蔭様で昨年度(2023年度)には、日本プロジェクトマネジメント協会のシンポジウムで、私を含む教員5名が「優秀研究活動賞」を受賞しました。

2018年度に開設したプロマネ領域ですが、複数の卒業生がIT企業のSEとして採用されています。学生時代にプロマネを1度でも実践し、知識体系を学んでいることが評価されているようです。今後とも、学生が主体性をもって社会や地域に貢献できるため「しなやかプロジェクトマネジメント」に関する研究に向き合い、またその成果の発信を続けていきたいと考えています。

※写真は大学のPR 商品開発を目指したプロジェクト「藤女子ブランドUP プロジェクト～藤の花からつなげるミライ～」の活動の様子です。



学生と企業とのキックオフミーティング



学生が企業と協働して完成させた
オリジナルバーム

人間生活学部

は ウェルビーイング学部

へ(文部科学省へ届出済み)

人間生活学研究科

は ウェルビーイング学研究科

へ(文部科学省へ事前相談中)

2025年4月 名称変更いたします。(構想中※)

ウェルビーイング学部 ●地域創生学科 ●食環境マネジメント学科 ●子ども教育学科

ウェルビーイング学研究科 ●ウェルビーイング学専攻 ●食環境マネジメント専攻

※名称変更は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。
※変更は2025年度1年次入学生からとし、在学生については変更ありません。

特設サイトはこちら▶



ウェルビーイングとは
(Well-being)

地域・社会の中で多様な人々が身体的・精神的・社会的に、それぞれの幸せや生きがいを感じ、人生の充実と豊かさを感じられる良い状態を表す概念。

戦後の社会再建のために多くの男女人材が求められている時代に、藤学園は専門学校・短期大学・四年制大学と、向学心に溢れる多くの女性たちに高等教育の機会を提供しました。

初代学長の牧野キクは、1947年に専門学校を設立した時に、大学をつくる構想を抱いており、家政学部開設の夢を抱いていました。その時には実現しなかった初代学長の夢を、40年ほど後に実現する時が来ました。

文部省から北16条校地が設置基準上の中心校地不足であることが指摘され、校地を取得するよう求められたため、2代目の山下学長の校地探しが始まりました。その当時は、政令指定都市に大学開設や、学部学科の増設、定員増などの認可申請を行うことは認められず、札幌市外に土地を求める必要がありました。幾つかの候補地の中から現在の花川校地に決定し、5万坪の広大な土地を購入したのです。

また、北海道内には管理栄養士を養成する施設がまだ存在していなかったこと、さらに高等学校における家庭科の男女共修必修計画の中で、高校家庭科教員増の需要が生まれたことなどの条件の中で、花川に家政系の学部を開設することを決めました。しかし、厚生省は北海道での管理栄養士養成施設早期開設を望みましたが、文部省は20年以上もその種の認可をした

ことがない、という前例踏襲の悪弊の中で道が閉ざされ、1992年の学部開設時には、管理栄養士養成施設として開設できず、やむなく栄養士養成施設として開設したのです。しかし、その僅か数年後の文部省担当官の不祥事をきっかけに文部省の姿勢が大きく変化し、1995年12月に道内初の管理栄養士養成施設として指定されました。

四年制大学の志願者が増加する一方で短大の志願者は減少し、女子の四大志向が著しくなってきたことを考慮して、2000年に両学部で1学科ずつを増設する改組転換によって短大を廃止することを決めました。入学定員の総数は減少ですが、総定員は増加です。18歳人口の減少期が始まってきていましたので、先取りした結果です。この時にも、時のしるしを見て、道内私大で初めて四年制大学の幼稚園教諭一種免許課程を設けました。

「時のしるし」に対応しながら歩んできた過去を振り返り、現在の驚くべきスピード感のある時代に、遅れずに歩んで行く知恵と勇気を失いたくないと思います。



1992年6月13日 人間生活学部開設式



花川校舎の誕生

ホームページの新規コンテンツを公開しました

2023年の秋から冬にかけ、本学ホームページの新規コンテンツを公開いたしました。「在学生インタビュー」「受講者インタビュー」では各学科・課程・大学院を選んだ理由や現在の学びを、「f-voice」では学生生活での個性豊かな取り組みや大学の魅力を、在学生が紹介しています。

今後も、皆さまに本学をより知っていただけるようホームページを通じて積極的に情報発信を行います。ぜひご覧ください。



f-voice

在学生インタビュー
(文学部)在学生インタビュー
(人間生活学部)